

普及現地情報

発信年月日：平成 27 年(2015 年)10 月 1 日
所 属 名：湖東農産普及課
番 号：F15009
部 門 分 類：150 (野菜)
発 信 者 名：森野

台風 15 号で全壊したパイプハウス再建！適期内にイチゴ定植終わる

8 月 25 日の台風 15 号により全壊した甲良町のイチゴ栽培ハウスが、その後の迅速な再建にむけた対応を行なった結果、定植適期内の 9 月 28 日に定植できました。

被害を受けた農家の所有するパイプハウス (7.5m×51m×3 棟、7.5m×30m×2 棟)のうちイチゴ栽培ハウス 1 棟 (7.5m×51m) が台風 15 号により全壊しました。

イチゴの定植間近になってからの被害であったことから、今年は栽培面積が 1 棟分減少かと思われましたが、①育苗ハウスは被害がなく苗が無事であったこと、②全壊したハウスの内部栽培ベッドは被害がなかったこと、等から早急に対応していくことで本年度の栽培が行えるよう支援を行いました。

まず、園芸店に連絡を取ってもらい、9 月中に残骸を撤去し、新しくパイプハウスが建設できるよう依頼されました。苗については、既存ハウス定植後スペーシングを行うことで徒長を防止し、ポット土へ施肥を行い肥料切れを軽減するように支援を行いました。

9 月 17 日にはパイプハウス本体が完成し、9 月 29 日に納品が遅れていた被覆ビニールを張るとの連絡が入ったことを受け、前日の 28 日に天気も良かったことから露地でイチゴの定植を行い、定植適期内である 9 月中の定植が実現できました。翌日には、無事にビニール被覆も行われパイプハウスが完成しました。

やや苗の肥料が切れたことや、1 週間程度既存の栽培ハウスより植付けが遅れたこともあり、10 月より、養液濃度をやや高めて肥培管理を行っていく予定です。



台風により全壊したパイプハウス



再建されたイチゴ栽培ハウス



9 月 28 日無事定植されたイチゴ苗